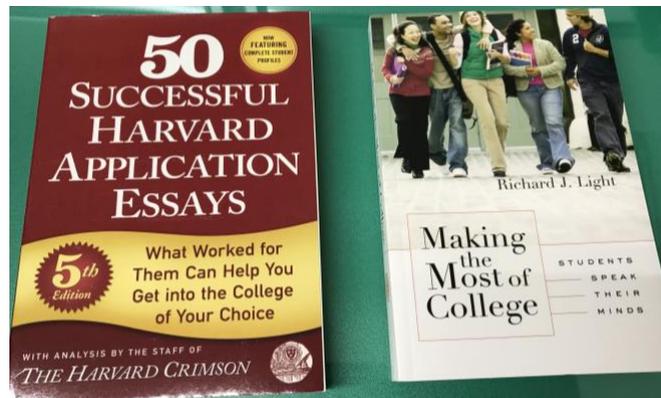




## Harvard Prize Book 受賞生徒の紹介

Harvard Prize Book とはアメリカハーバード大学同窓会によって運営されているプログラムで、世界中で約 1,900 校が参加しています。この賞は高校 2 年生でハーバード大学を含むアメリカの大学へ進学することを検討し、学業・課外活動で実績を上げている生徒を対象に授与されるものです。今年度は高校 2 年 6 組の尾関裕宜君に授与されることになりました。尾関君には賞状と英文図書 2 点が授与されました。このグローバル通信にも何度も寄稿してもらっていますが、尾関君はグローバル部で模擬国連に取り組んでおり、昨年 11 月の全日本高校模擬国連大会で高 1 のペアと共に最優秀賞を獲得し、来月にはアメリカニューヨークで開催される高校模擬国連国際大会へ日本代表の一員として派遣されることになっています。日本で開催される大会の多くでは公式スピーチは英語で行いますが、大使同士の個別交渉は日本語が使用されます。アメリカでは個別交渉でも英語が使用されるため、英語を母語としない国から参加している大使にはその分ハードルが高くなります。そのハードルを乗り越えてアメリカでの更なる活躍を期待します。



↑ 授与された図書

## 高校カナダ短期留学終了報告

高 1・高 2 を対象とした本校カナダ短期留学プログラムが 1 月 5 日から 3 月 17 日まで実施され 5 名の生徒が参加しました。3 月 17 日に 4 名、18 日に 1 名が帰国し、今年度のプログラムは無事終了しました。このプログラムはアルバータ州のエドモントンを舞台に実施され、ホームステイをしながら現地の 2 ヶ所の高校に分かれて通学するものです。生徒諸君の活動状況は 4 月以降のグローバル通信で少しずつご報告致します。新年度に参加を検討している生徒諸君はぜひ参考にして下さい。



3月17日(日)にまず4名が帰国しました。時差の影響も感じさせず元気そうでした。  
(成田空港にて)



3月18日に別便で帰国した1名も無事到着しました。  
(成田空港にて)



中央の CANADA の下に Edmonton とあります。

## THE 2024 世界大学ランキングの情報

イギリスの高級紙 Times が 2023 年 9 月に発行した Times Higher Education (THE) という情報誌で 2024 年の世界大学ランキングが掲載されています。昨年から報道されているので既にご覧になった方も多いかと思います。過去のグローバル通信でも言及している通り、日本のように偏差値という一つの指標だけで合格しにくい順にランキングが出来上がっていくのではなく、教員 1 名当たりの学生比、学生の男女比、留学生の比率、学問領域を超えた学際的研究の比率など複数の指標を使用して総合的にランキングが作られています。以下ご参考までに上位校をご紹介します。

No.	大 学 名	国
1	University of Oxford	U.K.
2	Stanford University	U.S.A.
3	Massachusetts Institute of Technology	U.S.A.
4	Harvard University	U.S.A.
5	University of Cambridge	U.K.
6	Princeton University	U.S.A.
7	California Institute of Technology	U.S.A.
8	Imperial College London	U.K.
9	University of California, Berkeley	U.S.A.
10	Yale University	U.S.A.

ご覧の通り上位 10 位まではイギリス・アメリカの大学が上位を独占していることが分かります。

No.	大 学 名	国
11	ETH Zurich	Switzerland
12	Tsinghua University	China
14	Peking University	China
19	National University of Singapore	Singapore
21	University of Toronto	Canada
29	The University of Tokyo	Japan
55	Kyoto University	Japan

11 位で初めて英米以外の大学が、12 位で初めてアジアの大学が登場します。12 位の大学は英語表記だと馴染みがないかもしれませんが、漢字表記だと清華大学となります。習近平国家主席の出身校です。19 位にシンガポール国立大学が入り、21 位にカナダとしては最初のトロント大学がランクインしています。気になる日本の大学は上位 100 校のうち東京大学と京都大学だけがランクインしました。ランキングの指標に **industry** という項目があるのですが、両大学ともこの項目でスコア 100 を獲得しています。研究力を基にした特許技術やそれを産業に活かすことなどが含まれると思われますが、このような指標は日本の受験制度の中ではまず考慮されないのが実情と言えます。

日本の一部の医学部では女子受験生が不利になるような採点方法が取られていたことが数年前に問題になりました。日本国内でも自分の志望大学を複数の視点から分析してみることは納得いく選択をするのに必要な手法ではないでしょうか。差し当たってどんな海外大学と提携しているかといった情報は各大学のHPから容易に見つけることができると思います。

THE のランキングの詳細は以下の URL よりご覧下さい。

<https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings/2024/world-ranking>



今年度もご愛読ありがとうございました。

今号が今年度最後の発行となります。毎回ささやかではありますが、皆さんの興味関心を深め視野を広げるきっかけ作りにお役に立てたとしたらこんなに嬉しいことはありません。短い春休みではありますが、春は新しい出会いの季節でもあります。外山滋比古先生が「思考の整理学」（筑摩書房ちくま文庫）の中で専門分野の異なる人間同士の肩肘張らない談笑から予期せぬヒントを得られるエピソードを語っておられました。人はともすると思考の似通った者同士で固まりがちですが、不思議なもので意外な所からそれまで気づかなかった考えが浮かんでくるものです。新高3以外はクラス替えがあり新たな出会いが生まれることでしょう。ヒューマンネットワークを広げて充実した新学年にしていきたいと願っています。4月からも皆さんに参考になりそうな情報をお届けしてまいります。